

少人数教育と実践的なカリキュラム 実習校との連携で教育者として資質を育む

本学は1978年に新構想の教員養成大学として設立され、初等教育教員を養成する学校教育学部と大学院（教職大学院／修士課程）を有します。学部の卒業時には全員が小学校教諭一種免許状を取得でき、コース選択により幼稚園教諭一種免許状、中学校・高等学校教諭の各教科一種免許状、保育士資格等の取得が可能です。心理臨床コースは公認心理師国家試験受験に必要なカリキュラムを整備しています。

学部は1学年160人と小規模であるため、少人数教育のシステムが確立され、アットホームな雰囲気も魅力です。

教育実習中の充実した支援 学部・大学院5年一貫も

授業内容は、模擬授業のほか、板書のトレーニングなどもあり、極めて実践的です。

また、教育実習の期間中は、公立学校校長・教頭経験のある教員が中心となり巡回指導や大学で土日に待機し、実習での困

り事の相談に乗ります。例えば授業で失敗してしまっても、次回はこうしてみたら？など具体的な助言を得られるため、気持ちを切り替えて前向きに実習に取り組むことができます。

実習校と本学の教員は日頃から研究会などで交流。相互理解と信頼関係構築に努めていることが、実習時に本学教員が学びを補い、現場でしか学べないことは実習校の教員が指導するという連携につながっています。

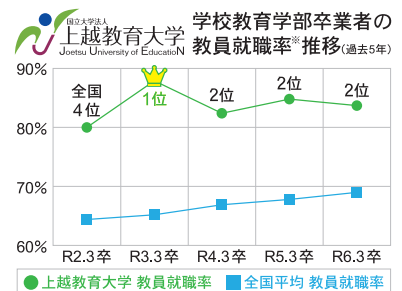
実習校は附属学校園のほか、上越市と周辺3市の幼稚園・保育園・こども園、小・中学校、特別支援学校の計98校園（2025年7月4日現在）です。

本学教職大学院進学を希望する学生に対しては、「大学院授業科目早期履修プログラム」、4年次から大学院の科目を履修し、通算5年で学士と教職修士を取得できる「学部・大学院5年一貫教育プログラム」を用意しています。

手厚い就職・進路支援体制 教育に活かせる様々な体験

就職・進路支援の拠点「プレイスメントプラザ（Pプラ）」では、公立学校校長職経験者の特任教員がキャリアアドバイザーとして論文、面接等の個別指導を担っています。全国自治体の教員採用試験要項、過去問などもPプラに揃っています。本学の高い教員就職率（右下図参照）を生み出しているのは、こうした手厚い支援体制です。

本学の学生は、地域の子どもの学習支援などボランティア活動に積極的で、複数の課外活動団体に所属したり、登山などを楽しんだりと活動的です。充実した環境でいろいろなことを体験し、子どもたちの教育に活かしてほしいと思っています。



順位及び全国平均は、国立の教員養成大学・学部（44大学・学部）中のもの。

林 泰成 学長

はやし・やすなり／1991年同志社大学大学院文学研究科博士課程後期課程哲学専攻満期退学。96年4月上越教育大学助教授。同大教授、附属小学校長、副学長などを経て、2021年4月より現職。専門は道徳教育論、教育哲学。

